

このはな  
「渡船も楽し 此花トレイル(大阪)」

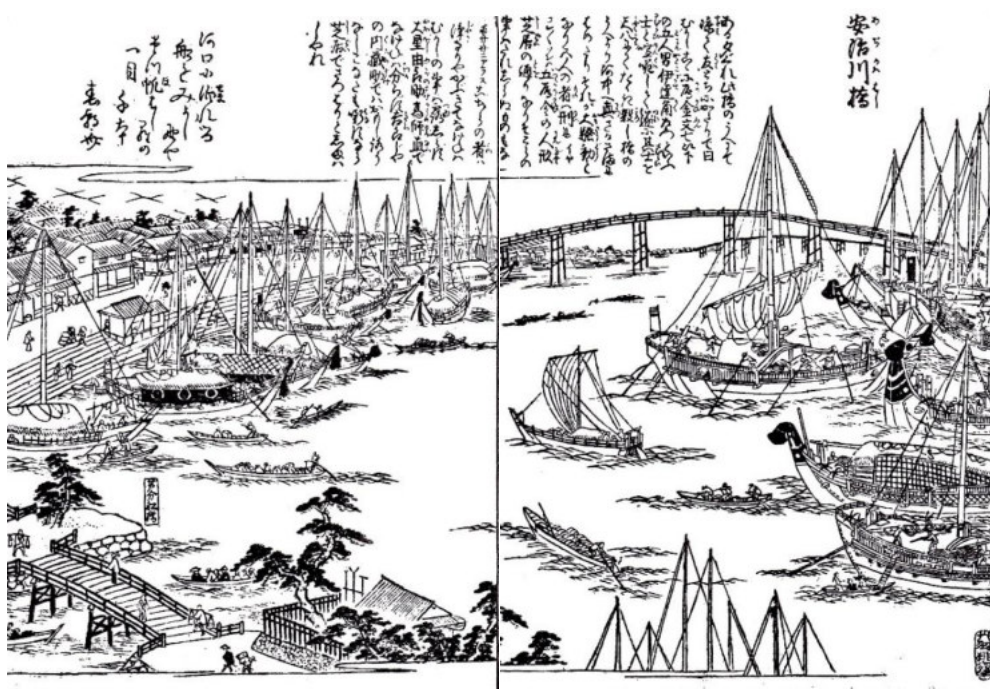
大阪湾に向かって手を突き出し、開いた指先。  
此花区はその手のちょうど中指に当たるでしょうか。  
その指の間を淀川、安治川などの大河が流れています。  
此花区では、一帯の名所旧跡を「おもしろトレイル」と  
名付けてガイドしています。

5月28日（日）、大阪市此花区の気温は25度、  
爽やかな微風の中、先ず天保山の山頂を目指します。  
参加者は男性14名、女性4名でした。

ちょっとマウンドを登ったかなと思う間もなく頂上に到着です。  
山頂（？）には二等三角点もあるれっきとした山ですが、  
標高は僅か4.53m。日本で一二を争う低い山です。  
この山はその名の通り、江戸の天保時代に築かれた、人口の山です。

そこには、水の都と云われた大阪の、水との闘いの歴史がありました。  
上流から流れに乗ってくる大量の土砂は、川を浅くして水運を妨げ、  
大雨が降れば洪水を引き起こします。そのため、幾度か浚渫工事が繰り返されます。  
1831（天保2）年からの浚渫は、町奉行の指揮の下2年間で延べ10万人以上が参加した  
「天保の大川浚え」。そこで浚った土砂を積み上げて航行の目印のために築いたのが、  
天保山だったのです。因みに、当時の安治川河口はこんな風に賑わっていました。

「摂津名所図会」 1798（寛政10）年



この日は、行程のそこかしこで、水との歴史を見る事になりました。

天保山の脇から船に乗って、<sup>あじがわ</sup>安治川を渡ります。

頭上には巨大な橋が架かって自動車が往来していますが、こちらは大阪市営の渡船で無料、自転車でも乗れます。かつて川沿いに10ヵ所程あった渡しも今はここだけ。15分から30分置きに運行される生活の足です。自転車をひいた外国人観光客の姿も見られました。300mほどの対岸までおよそ3分、楽しむ暇も無い短い船旅でした。



風に乗って轟音と歓声が聞こえてきます。2001年にオープンし、今やハリーポッターで大人気のUSJ=ユニバーサル・スタジオ・ジャパンです。淀川・安治川の河口一帯は港として流路が整理され、また埋め立てで新田開発も行われました。近代になって、そこは工業地帯に変貌し、造船、製鉄など大きな工場が建ち並びます。その工場群の跡地に、USJは設置されたものです。ゲート前からチラ見するだけで、先へ進みます。



歩いて居る内にTマークのトラックが多いのに気付きました。そのトラックの吸い込まれていったのが、こちら「新大阪郵便局」。といっても「新大阪駅」とは無関係。一般の郵便局の業務ではなく、物流拠点として西日本の郵便輸送ネットワークの重要拠点だそうです。面白いのはもう一つ郵便局が並んでいる事。「大阪安治川口駅前郵便局」左手前の建物です。こちらは普通の郵便局でした。



淀川の川筋に出ました。マンションが立ち並んでいます。阪神大震災以来、堤防の作りが見直され、外側の斜面を大きく広くし、緑地や住宅地としても利用する「スーパー堤防」が作られるようになりました。涼風の通り抜ける、マンションの日陰で昼食休憩。午後、途中で離脱する方もいる為、ここで全員写真です。



川筋の整理に伴って、伝法川、正蓮寺川など細い川は埋め立てられ姿を消しました。伝法川は川の先端だけが、港として残っています。そこにこんな物を見かけました。カーブミラーです。普通カーブミラーというのは、道路の曲がり角や交差点に建つもの。こちらは、水の中に建っています。ここは「伝法魚港」として、今も操業していて、ミラーは出入りの船の航行安全のために立てられているのです。



こちらは湊標住吉（みおつくし すみよし）神社。  
その昔航路を示すために立てられた標木が、  
写真左端の湊標で、大阪市のマークでもあります。  
この神社は、航海安全の神様です。



トレイルも終点に近づきました。

途中、阪神電鉄千鳥橋駅で2名、JR環状線西九条駅で  
2名が帰途に就き、残りは14名。  
向かう先は安治川隧道。川の下をトンネルで潜り抜けます。  
元々ここにも「源兵衛渡し」という渡船がありましたが、  
1944（昭和19）年に、全国的にも珍しい隧道が  
掘られたのです。両岸の大型エレベーターを使って、  
自動車も川の下を通行出来ました。トンネルの長さは、  
およそ80m。今、自動車は下流の安治川大橋を利用する  
ようになり、人と自転車がトンネルを利用しています。  
内部はひんやりとして、暑さを忘れる事が出来ました。  
此花の川の歴史を辿り、安治川を渡船で渡り、トンネルで水の下を通り抜けた燦歩でした。



### 蛇足の1 天保山は日本一低いかな？

仙台市の日和山（ひよりやま）も低く、この2つの山がデッドヒートを演じています。  
国土地理院が測量をして標高を出すのですが、この位の低さだと地形変動の影響もあり、  
2014年4月から日和山が標高3mとされています。それを比較すれば、天保山は2位と  
いう事ですが、2等三角点のある山としては依然第1位を堅持しています。  
なお、国土地理院のホームページでは、「日本一低い山は？」という問いに対して、  
「山の定義はしていません。辞典等によりますと、『山とは周囲よりも高く盛り上がった地  
形や場所のことを言う』とあります。」と、まことにつれない物言いです。

### 蛇足の2 安治川の名のいわれ

川の浚渫は何遍も繰り返されました。  
最初は1684（貞享元）年に河村瑞賢（かわむらざいけん）が幕府の命を受けて行い、先ほどの  
摂津名所図会は、安治川の名を、瑞賢の名「安治（やすはる）」に依ると記しています。  
一方この説には、瑞賢の名は「義通」であるとして、疑問が呈されています。  
瑞賢の開鑿後、「新川」「新堀川」などと呼ばれていたのを、1698（元禄11）年、徳川幕府が  
「安けく治むる」との願いを込めて命名したというのが、真説のようです。（大阪市史など）  
しかしその願いも空しく、150年後天保にまた大工事をしなければならなかったのです。

### 蛇足の3 此花のいわれ

王仁博士の古歌「難波津に 咲くやこの花 冬ごもり 今は春べと 咲くやこの花」から  
引用されているのは、云うまでもない事で、大正14年に区が設けられた時に、議論百出の  
末に落ち着いたのが、この名前だったそうです。  
蛇足はここからです。伊馬春部（いまはるべ）と云う放送作家が居られました。（1908～1984）

折口信夫門下の歌人で、戦前は小劇場ムーランルージュで脚本を担当し、戦後はNHK囑託となって連続ラジオドラマ「向う三軒両隣り」(1947～53)で人気を博しました。

1956年には放送文化賞を受賞しています。本名は 高崎英雄 福岡県生まれです。

私はこの伊馬春部という筆名が、「難波津に……」の歌に由来するものと思い込んでいました。

今回念のため、「伊馬春部」の特別展を開いたこともある北九州市文学館に尋ねたところ、別の万葉歌に由来するものと分かりました。その歌とは、

「今更に 雪零(ふ)らめやも かぎろいの 燃ゆる春べとなりにしものを」(巻10)

意味は、「今さら雪が降ったりしまししょうか。かげろうが燃える春になったんだもの」

戦前は「伊馬鶴平」として活躍していた彼に、戦後の新生と活動を期待して、師の折口が改名を勧めたのだそうです。(棧比呂子著「やさしい昭和の時間 劇作家伊馬春部」より)

思い込みとは恐ろしいものです。此花を全く離れてしまい、蛇足の蛇足で失礼しました。

\* \* \* \* \*

## ご 案 内

旧友会員の方、職員の方、入会大歓迎です。

入念な下見を行い、中途離脱も可能なルートを設定して、**毎月第4日曜日**に歩いています。

メンバーはおよそ50名、その日の都合と体調に合わせて自由参加です。

## 2017年度の予定

6月 膳所めぐり 歴史旅(滋賀)

7月 石の宝殿と鶴林寺(青春18切符利用 兵庫)

8月 暑さを避けて休会

9月 コスモスの斑鳩三塔(奈良)

10月 吉備路の旅(1泊)

11月 京都一周トレイル(9年計画の第1回です)

12月 納会

1月 道明寺天満宮で初詣(大阪)

2月 どんづる峰を訪ねる(大阪・奈良)

3月 御坊と道成寺(青春18切符を利用 和歌山)

参加ご希望の方は、山村恵一さんにご連絡下さい。(電話 0743-20-4159)  
ご一緒に気軽に楽しく歩きましょう。

生島(おじま)幸弥